

2013年制定

コンクリート標準示方書 [ダムコンクリート編]

総目次

[ダムコンクリート編：本編]

1章 総則	1
2章 コンクリートダムの構造設計	5
3章 設計図書	11
4章 施工計画	12
5章 施工	18
6章 品質管理	19
7章 検査	20
8章 施工記録	21
9章 維持管理	22

[ダムコンクリート編：標準]

1章 総則	23
2章 コンクリートダムの構造設計	26
3章 ダムコンクリートの品質	30
4章 温度規制計画	38
5章 材料	42
6章 配合設計	52
7章 製造	57
8章 施工計画・施工	61
9章 品質管理	77
10章 検査	82
11章 維持管理	84

2013年制定

コンクリート標準示方書 [ダムコンクリート編：本編]

目 次

1章 総 則	1
1.1 一 般	1
1.2 用語の定義	3
2章 コンクリートダムの構造設計	5
2.1 一 般	5
2.2 構造計画	6
2.3 構造設計	6
2.4 ダムコンクリートの設計値と特性値	7
2.5 温度規制計画	9
3章 設計図書	11
3.1 一 般	11
4章 施工計画	12
4.1 一 般	12
4.2 施工計画における検討項目	12
4.3 施工方法の設定	13
4.4 ダムコンクリートの施工性能の設定	13
4.5 ダムコンクリートに使用する材料の選定	13
4.6 ダムコンクリートの製造方法の設定	14
4.7 ダムコンクリートの配合設計	14
4.8 施工方法の確認	15
4.9 温度規制計画の確認	15
4.10 ダムコンクリートの物性の確認	15
4.11 施工計画の確認と変更	16
5章 施 工	18
5.1 一 般	18
6章 品質管理	19
6.1 一 般	19

7章 検 査	20
7.1 一 般	20
8章 施工記録	21
8.1 一 般	21
9章 維持管理	22
9.1 一 般	22

2013年制定

コンクリート標準示方書 [ダムコンクリート編：標準]

目 次

1章 総 則	23
1.1 適用の範囲	23
1.2 用語の定義	24
2章 コンクリートダムの構造設計	26
2.1 構造の原則	26
2.2 作 用	28
2.3 構造設計用の力学特性	29
3章 ダムコンクリートの品質	30
3.1 一 般	30
3.2 配合区分	31
3.3 フレッシュコンクリートの品質	32
3.3.1 コンシステンシー	32
3.3.2 空 気 量	33
3.4 硬化コンクリートの品質	33
3.4.1 単位容積質量	33
3.4.2 強 度	34
3.4.3 水 密 性	35
3.4.4 耐 久 性	36
4章 温度規制計画	38
4.1 一 般	38
4.2 温度ひび割れ予測	38
4.2.1 熱 特 性	38
4.2.2 予測手法	39
4.3 収縮継目	39
4.4 リフトスケジュール	40
4.4.1 一 般	40
4.4.2 リフト厚および打込み間隔	41
4.5 プレケーリング	41

5章 材 料	42
5.1 一 般	42
5.2 結 合 材	42
5.2.1 セメント	42
5.2.2 混 和 材	43
5.3 練混ぜ水	44
5.4 細 骨 材	44
5.4.1 密度および吸水率	44
5.4.2 粒 度	44
5.4.3 耐 久 性	45
5.4.4 有害物の含有量	47
5.5 粗 骨 材	47
5.5.1 密度および吸水率	47
5.5.2 耐 久 性	48
5.5.3 すりへり抵抗性	49
5.5.4 粒度分布	50
5.5.5 有害物の含有量	50
5.6 混 和 剤	51
6章 配合設計	52
6.1 一 般	52
6.2 粗骨材の最大寸法	53
6.3 粗骨材の粒度	53
6.4 細骨材率	53
6.5 水結合材比	54
6.6 単位結合材量	54
6.6.1 一 般	54
6.6.2 混和材置換率	55
6.7 混和剤量	55
6.8 配合の表し方	56
7章 製 造	57
7.1 一 般	57
7.1.1 骨材の貯蔵	57
7.1.2 結合材の貯蔵	57
7.1.3 混和剤の貯蔵	58
7.2 計量と練混ぜ	58
7.2.1 材料の計量	58

7.2.2	練 混 ぜ	59
8 章	施工計画・施工	61
8.1	一 般	61
8.2	型 枠	61
8.2.1	一 般	61
8.2.2	型枠の構造	62
8.2.3	型枠の据付けおよび取外し	63
8.3	運 搬	64
8.4	打込み準備	64
8.5	打 込 み	66
8.5.1	一 般	66
8.5.2	有スランプコンクリートの打込み	67
8.5.3	RCD用コンクリートの打込み	67
8.6	締 固 め	68
8.6.1	有スランプコンクリートの締固め	68
8.6.2	RCD用コンクリートの締固め	69
8.7	表面仕上げ	70
8.8	養 生	70
8.8.1	一 般	70
8.8.2	有害な作用に対する保護	71
8.8.3	長期間打込みを休止する場合の表面の保護	71
8.9	収縮継目	72
8.9.1	一 般	72
8.9.2	横 継 目	72
8.9.3	縦 継 目	72
8.10	暑中コンクリート	73
8.10.1	一 般	73
8.10.2	材料の取扱い	73
8.10.3	練混ぜおよび打込み	74
8.10.4	養 生	74
8.11	寒中コンクリート	75
8.11.1	一 般	75
8.11.2	材料の取扱い	75
8.11.3	練混ぜおよび打込み	75
8.11.4	養 生	76

9章	品質管理	77
9.1	一般	77
9.2	材料の品質管理	78
9.3	ダムコンクリートの品質管理	79
9.3.1	配合の管理	79
9.3.2	フレッシュコンクリートの品質管理	80
9.3.3	硬化コンクリートの品質管理	81
9.3.4	RCD用コンクリートの締固め管理	81
10章	検査	82
10.1	一般	82
10.2	検査の方法	82
10.3	判定	83
10.4	処置	83
11章	維持管理	84
11.1	一般	84
11.2	ダムコンクリートの診断	84
11.3	対策	85
11.4	記録	85